

日 時：2018年12月4日 (火) 13:00～17:00
 場 所：東洋大学 白山キャンパス 8号館 7階 125記念ホール
 出席者：50名
 研修テーマ：高大接続改革を考える

1. 研修内容

第5回分科会は「高大接続改革を考える」を研修テーマとし、東洋大学様に訪問して分科会を開催いたしました。

当日は、東洋大学 理事・入試部長 加藤 建二 様より「紙からWebへ。TOYO Web Styleの取り組みと今後の展開～志願者11万人超！4年間で5万人増を達成した戦略とは～」と題して、選ばれる大学に向けて、さまざまな変化に対応した大学の在り方を常に模索し、挑戦を続けている東洋大学の取り組みについてご紹介いただきました。

また後半は、「自大学にどのような学生が来てほしいか」をテーマとし、参加者で意見交換をおこないました。

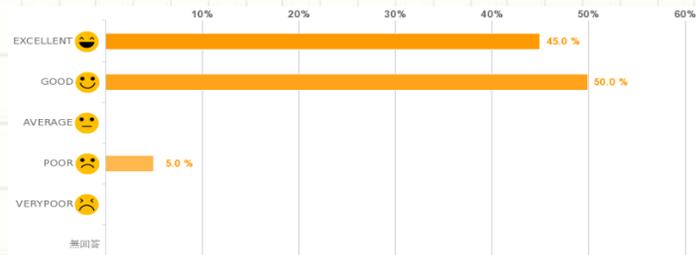
2. スケジュール

13:00～13:15	全体会 ・会場校ご挨拶 会場校ご挨拶 東洋大学 常任理事 神林 新 様 ・事務連絡
13:15～14:20	ご講演 「紙からWebへ。TOYO Web Styleの取り組みと今後の展開 ～志願者11万人超！4年間で5万人増を達成した戦略とは～」 東洋大学 理事・入試部長 加藤 建二 様
14:20～14:40	休憩
14:40～15:00	情報提供 「いまさら聞けない高大接続改革」 ・そもそも高大接改革って何？ スケジュールは？ 現状は？
15:00～17:00	・意見交換 (テーマ：自大学にどのような学生が来てほしいと思いますか？) ・まとめ

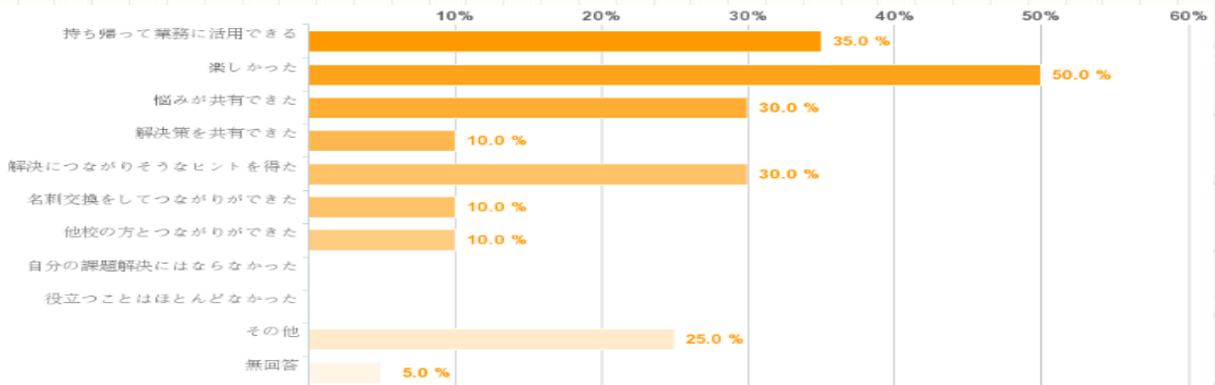


3. アンケート結果【回答数20】

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください。(複数回答可)



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があれば自由にご記入ください。

- ・入試関係が中心かと思っていたが、グループワーク等を通してカリキュラムを含む大学全体の見直しが必要であることを改めて認識できた。
- ・各大学の高大接続についての取組が知れてよかった。本学の業務を見直すきっかけになった。
- ・入試は自分が携わる分野では無かったものの、大学職員として問題意識を持ったきっかけになった。
- ・高大接続は2020年。もう時間がありません。もう少しこのテーマを継続して扱って欲しいです。
- ・入試改革に積極的な東洋大学の具体的な取組みを聞くことができ、自大学では何ができるのだろうか考える機会になった。
- ・東洋大学さんの取組を聞く時間がもう少しあるとよかったです。 ・東洋大学さんのチャレンジ力を強く感じました。
- ・欲しい学生像と実際の学生のギャップをある意味埋めていく挑戦は続けていくものですが、ますます強くなっていく3ポリシーの重要性を共有する場を持つことが必須と実感しました。 ・東洋大学様の取組みをご説明いただき、とても参考になりました。
- ・11月に入職し勉強のために参加させていただきましたが、ご講演・意見交換ともに他大学のお話を伺え多くの学びと発見を得ることができました。本日はありがとうございました。 ・入試部署の方は思ったより少なかった
- ・各大学の取組み、思い通りにいかないことを共有できて、勉強になった。入試制度改革は他大学の動向にも気になるところで、良いテーマだった。 ・今回、初めての参加でしたが、改めて課題について他大学様と意見交換ができて良かったです。

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・システム利用（帳票作成、処理手順）やシステムに関するスタッフの教育方法で特徴的な取組みをしている大学事例があれば、見学等をしてみたい。 ・学内情報のとりまとめ→発信（SNS、HP、プレス等）の流れ事例 ・募集面での高校とのリレーション
- ・遠方の大学 ・研究推進の事務職員の関わり ・働き方改革 ・BYODの環境が整っている大学様
- ・Office365活用 ・AIを使った具体的な取組事例を聞いてみたいです。 ・ラーニングコモンの稼働が高い大学を見てみたい
- ・学部 事務 関係 ・アセスメントシステム 働き方改革 ・国際教養大学（秋田）

【Q5】C S 研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・最終回のみ参加でしたが、ありがとうございました。 ・ソリューション紹介がもっとあっていいと思います。
- ・今年は1度しか参加できませんでしたが、次年度はより参加できる様努力いたします。 ・一年間ありがとうございました。
- ・毎回の内容を学内でも共有していきたいと思っています。一年間ありがとうございました。 ・他職員（参加できなかった）への学内情報共有

4. 参加校 [12校23名] ・賛助企業[4社27名]・参加総数50名

亜細亜大学[1]	千葉工業大学[4]	東洋大学[4]	エデュケーションITサービス(株) [1]
産業能率大学[2]	大東文化大学[2]	白鷗大学[1]	富士電機 I Tソリューション(株)[2]
芝浦工業大学[2]	東海大学[1]	文京学院大学[1]	富士通(株)[22]
清泉女子大学[1]	東洋学園大学[2]	立正大学[2]	事務局[2]

5. 所感

国は高大接続という大きなテーマで舵をきろうとしている今、各々の大学様はその対応に迷われていると思います。高大接続がテーマでしたが今回は大学様全体の問題であり、学内でどのような共通意識を持つのが重要だと思いました。討議では「自大学にどのような学生が来てほしいか」という難しいテーマだったにも関わらず活発に意見が出て、大学業界についてより深く考えるきっかけになったと思います。

(富士通 東日本) 文教統括営業部 風間